



お知らせ



第3回 医療・介護のお仕事体験フェア

医療・介護の仕事を知って、思い手になろう！

定員**90名** 前回より拡大！

2023年6月25日(日) 10:00~12:30

場所：AER21階 TKPガーデンシティ仙台

対象
中学生・高校生
予備校生
※保護者の方の同伴も可能です。

参加無料
前回の様子確認できます！
来場記念品プレゼント

参加申込はこちらから [\[写真に写り込む申込/予約\]](#)

QRコードにアクセスできない場合はお電話にて申込ください。TEL 022-265-2601

PROGRAM

Opening Stage
「私たちが大切にしていること」
坂総合病院 副院長 片平 敦子

お仕事体験
各職種の役割を知ることがチーム医療の重要なポイントです。
3職種を体験して、自分の目指す職種との関わりや役割を知ろう！

医師

看護師

薬剤師

検査技師

放射線技師

介護福祉士

病院事務

歯科

リハビリ

臨床工学技士

病院管理栄養士

体験できる職種

※各職種、定員数がございます。定員に達した職種は受付を終了します。
※状況により職種が変更になる場合があります。最新情報はHPや公式LINEでご確認ください。

宮城県民主医療機関連合会(宮城県民連) 022-265-2601
宮城厚生協会・みやぎ保健会・宮城厚生福祉会 仙台市青葉区木町通1-18-8 5階 @igakusei@miyagi-min.com

公式SNSのご案内

Twitter



@netbanban

Instagram



@sakageneralhp

Facebook



@miyagiminiiren

公式LINE




@174imjmv

YouTube



坂総合病院医学生担当

★お問合せ・お申込み先★
宮城県民主医療機関連合会 医学生担当まで
〒980-0801 仙台市青葉区木町通り1-8-18 田村ビル5階
TEL022-265-2601 FAX022-263-8266
Mail igakusei@miyagi-min.com



病院HPはこちらです

次回の坂坂の発行は8月の予定です。

坂総合病院医学生だより

坂坂

〈発行〉
坂総合病院
医学生と共に歩む委員会
連絡先・塩釜市錦町16-5
☎022-367-9007
2023年5月1日
No. 99



坂総合病院HP
「医学生のひろば」より
過去の坂坂をご覧いただけます。



4月1日、初期研修医9名が坂病院に入職しました！
初期研修医の導入研修の様子や研修医からのメッセージを紹介いたします！



一般プログラムローテーション表

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
導入研修		消化器科 12週	外科 12週	呼吸器科 12週	小児科 8週	循環器科 12週	産婦人科 4週	救急科 8週	精神科 4週	選択科 16週	地域医療 12週													
訪問診療	地域医療研修の一環として看護師と共に訪問診療を担う																							
当直	ウォークインで来院する患者さんへの診療を担う																							
救急	救急当番で日中に救急車で搬入された患者さんへの診療を担う																							
一般外来	ローテーション中の3カ月、一般外来診療を担う																							

終了
過去
表

総合診療プログラムローテーション表

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
導入研修	Aパターン 内科	救急	地域医療	外科	産婦人科	地域医療	内科	小児科	精神科	救急	地域医療													
Bパターン	救急	内科	産婦人科	地域医療	小児科	外科	地域医療	救急	内科	精神科	地域医療													

加藤 拓実 東北医科薬科大学卒

趣味: ゲーム

● 医師を目指した理由

医師不足。自分がよく病院に行くので、医師がいなくなったら困る! ！と思い医師を目指しました。

● どんな医師になりたいか

親しみやすく、いろいろ話せる医師。治療に関係あること、ないことたくさん話せる相手になりたい。

鈴木厚 富山大学卒

趣味: 音楽・海外ドラマ鑑賞、ゴスペル

● 坂総合病院を選んだ理由

リハビリ科に興味があり、日本リハビリテーション医学会主催の医学生向けのセミナーで坂総合病院の藤原先生が講演されていたのをきっかけに坂総合病院を知りました。その後、病院見学を通じて雰囲気の良い、指導環境が充実していること感じ、坂病院での研修を選ぶに至りました。

● 医師を目指す方へのメッセージ

私は紆余曲折を経て、30歳を超えてから医学部に入学しました。再受験時や入学して、当初は遠回りしていることを思い知らされる日々でしたが、その道のりを通じて貴重な経験をたくさん得られました。医師を目指すにあたって挫折や失敗を経験することもあると思います。そうした失敗も最終的には、自分の血肉となっていくので、後ろ向きにならずに、その経験を活かしていくつもりで日々を過ごしていってください。

榎田 凌大 山形大学卒

趣味: ゴルフ、ランニング、野球

● 医師を目指した理由

お世話になった方が闘病している姿を見て、同じように病気で苦しんでいる人を助けたいと思ったから。

● どんな医師になりたいか

患者さんが人生に希望を持ち続けられるような医療を提供できる医師。

安齋 勇輝 山形大学卒

趣味: ランニング、ギター

● どんな医師になりたいか

患者様の生活に寄り添い、その在り方を共に考えられるような医師になりたいです。そのため、患者様・医療従事者どちらからもご相談・情報共有していただけるような話しやすい医師を目指しています。

● 坂総合病院の第一印象

初めて実習で伺った際に、職員の方々だけでなく患者様にも優しく接していただき、大変温かい病院だと感じました。職員の方同士でも話しやすい雰囲気があり、風通しが良く働きやすい職場だと感じました。

新入医師の自己紹介メッセージ

次の質問から二つを選んでもらいました！

- ・医師を目指した理由
- ・どんな医師になりたいか
- ・医師を目指す方へのメッセージ
- ・坂総合病院を選んだ理由
- ・坂総合病院の第一印象

佐久川 寛子 琉球大学卒

趣味: 韓国ドラマ鑑賞

● どんな医師になりたいか

私は将来、専門分野以外の基本的な疾患にも対応できる医師になりたいと考えています。坂総合病院の初期研修を通して内科・外科の分野にまたがった幅広い疾患を学び、その後の専門医研修に繋がっていきたくと考えています。また、いつでも学ぶ姿勢を忘れずに日々精進していきたいと考えています。

● 坂総合病院の第一印象

坂総合病院を初めて訪れたにも関わらず、前にも来たことがあるかのような親しみを感じました。実際に見学してみても、医師の先生方をはじめスタッフの皆さんが優しく接してくださり、この病院で研修したいと思ったきっかけになりました。

高田 正紀 東北医科薬科大学卒

趣味: 映画鑑賞

● 医師を目指した理由

私が医師を志したきっかけは、親が医療職という事もあり、医師はカッコいい仕事だと漠然と憧れがありましたが、特に勉強を熱心にするわけではありませんでした。高校三年生になり将来のことを考えた時に、自分の知識や技術で患者さんを直接助けることができる医師という職業にとてもやりがいを感じ、医師を目指すことを決めました。

● どんな医師になりたいか

患者さん一人一人に誠実に向き合い、患者さん中心の医療を行える医師になりたいです。そのためには、日々謙虚さを忘れず、医学知識と技術を研鑽し、患者さんの価値観や多様性を尊重できるように努めていきたいです。

福岡 涼 東北大学卒

趣味: 野球、運動

● 医師を目指した理由

小さいころ、お世話になっていたお医者さんがおじいさんなのに若々しくてすごかったよに見えて、医師という仕事を選択肢の一つになった。

● どんな医師になりたいか

国試合格、卒業が決まり働き始める直前の今の気持ちをずっと忘れずに謙虚にアクティブに働きたい。

小野寺 聖司 山形大学卒

趣味: 漫画、テレビ、バドミントン

● どんな医師になりたいか

私はなんでも相談しやすく、専門外のことでも適切に対処できる医師になりたいです。人は弱い生き物です。ずっと1人でいると気持ちが落ち込むこともあると思います。私自身も経験があり、その時は周りの人に支えてもらうことで前に進むことができました。病気になると尚更不安になると思います。そんな時に、治療と共に心のケアもできる医師になりたいです。

● 坂病院を選んだ理由

病院全体の雰囲気の良さです。見学の際は、先生方や事務の方、看護師の方も優しく接していただき、自分に合っていると感じました。他の理由としては、内科を長く周れること、主治医制を採用しており、研修医の時から責任感を強く持ちながら働けることなどです。二年間の中で自分の理想の医師像に近づけるよう頑張りたいです。

鹿野 晃矛 札幌医科大学卒

趣味: ヴィオラ

● 坂総合病院の第一印象

坂総合病院は学生への支援が非常に手厚く、学習面だけでなく、生活面においても、よく学生のことを考えてくれる病院のように感じました。

● どんな医師になりたいか

身体疾患を治療するだけでなく、患者さんとその周囲にとって最善を目指すことのできる医師を目指したいと思っています。これから1年目ですが、実現できるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

導入研修の様子をご紹介します

1年目研修医は入職したら、3週間の導入研修を行います。導入研修とは、各科での研修に入る前に、基本的な手技を身につけたり、健診書等の書類の書き方や病状説明の訓練などを行ったりしています

今回は胸腔穿刺と腰椎穿刺の研修の様子をお届けします！



胸腔穿刺の様子

穿刺って？
体外から血管内、体腔内、内蔵に針を刺して、血液や体液などを採取すること。

先輩医師から
レクチャーを受けています！

胸腔穿刺は、肺と胸壁の間(胸腔)から溜まった液体や空気を抜くことを目的として行います。



胸腔穿刺の様子



腰椎穿刺の様子

腰椎穿刺は、背中から針を刺して脳脊髄液の圧測定、液採取を目的として行います。



腰椎穿刺の様子

復興とエネルギー問題を考える フィールドワークに行ってきました！



3月23日(木)、医学生、薬学生と一緒に仙台市荒浜地区や蒲生地区といった沿岸被災地をめぐるフィールドワークを開催しました。この企画は、震災12年を迎えた今の現状を知ること、今後に活かせることを知ることなどを目的に開催しました。

ハード面の復興はすでにずいぶん前に「終わりました」と県は宣言していましたが、実際の被災地を訪れてみると、土地の有効活用として選ばれたのか、慰霊塔のすぐ隣に巨大なバイオマス発電所が建設中であつたり、被災した土地への思い入れや愛着から、その土地での街づくりをチャレンジしている方に出会ったり、あるいは医師でありながら、命に向き合ったときに危険な原発を再稼働させることはできないと、自然エネルギー(太陽光)の発電所を立ち上げた方(当法人の元理事長です)がいたり、本当の復興に向けて動いている方がいました。

復興は人それぞれの形があり、12年たった今も本当の復興に向けて邁進している方々がたくさんいらっしゃることに驚きましたし、災害という大きな出来事を経て、線引きされた区画整理や土地の活用法の問題、そしてその土地に生まれ育った方たちの「ここに住みたい」という願い。

話を聞いて、私たちが具体的にできることはそう簡単には見つかりません。でも知っておくこと、聞いてみることはできることだと思います。来る災害に備えるためにも、改めて「今」を見ることをぜひおすすめします。

